

令和7年度 3歳児 「運動会 学年の遊び」(新設)

(子どもの姿に応じて計画を見直す。特に柔軟に変更可能な箇所を網掛け、実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

子ども達は、4月下旬から思い切り走ったり、遊具に登ったり、滑り台を滑ったり、ストライダーをこいだり、ジャンピングで跳んだり、ゲームボックスから飛び下りたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。また、生き物になって走ったり跳んだり這ったり、消防隊、警察官や店員さんになってお客様と一緒に会話をしたり料理を振舞ったりするなどのごっこ遊びも楽しんでいる。また、絵本の繰り返しの展開を楽しんだり、教師やクラスの友達と一緒に、曲のリズムに合わせて思いきり体を動かすことを楽しんだりしている。

幼稚園生活に慣れるにつれ、ダンゴムシやチョウを捕まえたい、追いかけっこがしたい、砂場で大きな穴や山を作りたい、遊具に乗りたいなど自分の好きなことを見つけたり、したいと思ってしようとしている。そして、よく遊ぶ友達、好きな友達と砂場で横に並んで同じ遊びをしたり、近くにいる友達と捕まえた虫を見せ合ったり、一緒に乗り物に乗ってパトロールをしたり、滑り台を滑ったりなど、友達と一緒に遊ぶ楽しさや、友達と一緒にいる心地よさを味わい始めている。

2学期は、引き続き好きなことやしたいと思ったことを見付けて存分に楽しんだり、少し難しいことにも友達や先生と一緒にやつてみようかなと思ってしたり、遊具や道具を使って遊びながらいろいろな体の使い方や動かし方を感じたりコツを感じたり、できるようになったことを感じて嬉しく思ったり自信をもつたりしていくことを支えていきたい。

また、学年の先生や友達と同じ遊びをしたり一緒に体を動かしたりして、他クラスの担任の先生も頼れる存在であると身近に感じたり、クラスを越えた友達とも一緒に遊ぶことや一緒にいる心地よさを感じたりするようにしていきたい。

そこで、これまで子ども達が楽しんできた身近な生き物や好きな生き物などになっていろいろに体を動かすことを学年の先生や子ども達と楽しむことを通して、様々なことをやってみようと思ったり、難しいけれど頑張った、頑張ってできるようになった、強くなつたことなどを感じたり、同じことをしている友達がいることに嬉しいと思ったり、やってみようと思つたことを様々な遊具に興味をもって体をいろいろに動かす楽しさを味わつたりしてほしいと考える。

また、集団生活に入って半年に満たない子ども達にとって、保護者にそばにいてほしい、見てもらいたい気持ちはとても強く、親子ふれあいの日や参観日などおうちの人が一緒に遊んでくれる、見てくれることをとても嬉しく感じている。そのため、お家の人に応援してもらったり見てもらったりすることも楽しみに待てるようにしていきたいと考える。

3. ねらい (思考力が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す。)

- ① 早く走りたい、先生を捕まえたい、ゲームボックスから遠くまで飛び下りたい、ボールをカゴにたくさん入れたい、高いところにあるボールをタッチしたい、平均台から落ちずにいろいろな渡り方を試してみたいなど、したいことを見付けたり、何度もしたいと思ったり、友達や先生がしている様子や遊びの場を見てやってみようと思ったりする。
自ら決める・選ぶ
- ② 早く走れた、鬼から逃げきった、遠くまで飛び下りることができた、平均台から落ちずに渡れたなど、したいことができたり、難しいと思っていたことができるようになったりして嬉しく思ったり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする。
充実感を得る
- ③ 先生に尋ねられたり知らされたりして、自分の好きな遊びに気付いたり、褒めてもらって、自分の得意なことやできるようになったこと、自分の頑張りなどを感じたりする。
自分のことを知る
- ④ 先生や友達と身を寄せたり、一緒に走ったり難しいことに挑戦したり同じ動きをしたりして、いろいろな友達と一緒に遊ぶ楽しさや心地よさを感じたり、親しみを感じたり、応援したり応援してもらったり頑張っているところを見てもらったりして喜んだりする。
他者といふ喜びを感じる
- ⑤ 友達や先生がしていることを見たり、聞いたり、一緒に遊んだりして、友達や先生の楽しんでいることや頑張っているところを感じたり知ったりする。
他者ことを知る
- ⑥ みんなで体を動かしたり走ったりするときに、手を繋いだり寝転んだり周りを見ていなかつたり距離が近すぎたりすると危ないことを感じたり、周りを見て物や友達を避けながら動くとぶつからずに危くないことを感じたり、高い場所にいたり高い場所から飛び下りる遊びをしたり遊具を運んだりするときに、気を付けた方がいいことを気に付いたり、先生と一緒に考えたり、危なくない方法を教えてもらってしようしたりする。遊具を置くときに危なくないような場所を考えて置こうとする。
身を守る
- ⑦ 合図に合わせて思いきり走ったり止まったり、狭いところをくぐったり、高い所から飛び下りたり、バランスをとって渡ったり、狙ってボールを投げたりするなど、いろいろな体の動かし方やコツを感じたり、いろいろに体を動かす楽しさや心地よさを味わったりする。
体の動きや感覚を磨く
- ⑧ 登場する生き物を実際に見たり、触ったり、その生き物が登場する絵本を読んでもらったりして、親しみをもったり動きや姿に面白さを感じたりする。
生き物・命を見つめる
- ⑨ したいことができるような遊びの場を先生や友達と考えたり整えたりとする。
場や状況を整える
- ⑩ 登場する生き物になってごっこ遊びを楽しんだり、友達や先生のしている動きや表情の表現を思いのままに感じたり、登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しんだりする。
体や動きに表す
- ⑪ 話のが展開を思いのまま感じたり、していく面白さを感じたり、先生や友達と一緒にお話を展開や設定を感じながら考えながら遊ぶことを楽しんだりする。さを感じたりする。
演出・構成する

4. 展開

学年の先生や友達と一緒に体を動かしたりなったりして遊ぶ



お話を流れに合わせていろいろに体を動かしたりなったりして遊ぶ

A【芝生で走ったり体をいろいろに動かしたりする】

- ・芝生で友達や先生と追いかけたり追いかけられたりする
- ・思いきり走る
 - ・急に止まる
 - ・横に転がる
 - ・体を丸める
 - ・合図に合わせて走り出す
- ・友達とぶつかる、痛がる、驚くなどして危ないことを感じる
- ・前を見て走ったり友達をよけながら走ったりする
- ・応援してもらったり応援したりする

B【遊具を使って体をいろいろに動かす】

- ・いろいろな遊具に挑戦しようとする
- ・いろいろな動きを試す(高い所から飛び下りる、上に向かってジャンプする、片足や両足でバランスをとって渡る、トンネルをくぐって進む、ボールを狙いの的に向かって投げる)
- ・動きの感覚をつかんだり、コツを感じる
- ・友達が頑張っている姿を見る
- ・安全に遊ぶためにどうすればよいか教えてもらったり考えたりしてしようとする
- ・少し難しいこともやってみようとする
- ・何度もしようとする
- ・自分の頑張りに気付く

C【なって遊ぶ】

- ・友達や先生と生き物になって動く
- ・動きやすいような場や状況を教えてもらったり感じたりする
- ・なっている生き物の実物を見たり触ったりする
- ・なっている生き物の図鑑や科学絵本、物語絵本を見る
- ・友達と一緒に動いたりくついたりする
- ・生き物になって先生や友達とお話を考えたり展開に合わせて体を動かしたりする
- ・気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現する
- ・先生や友達と一緒に遊具を置く場所を考えたり選んだり整えたりする

いろいろな人に見てもらうことを楽しみにしたり、褒めてもらって喜んだりする

D【先生や年中・年長、お家の人に見てもらう】

- ・いろいろな先生や他クラスの友達、お家の人に見てもらうことを楽しみにしたり、応援してもらったり、褒めてもらったりして喜んだりする

A【芝生を走ったりいろいろに体を動かしたりする】

予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ②教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生で友達や先生と追いかけたり追いかけられたりする ・思い切り走る ・合図で急に 	<ul style="list-style-type: none"> ○広い芝生で思いきり走る気持ちよさや楽しさを感じる⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> *芝生で思いきり走るなど体を動かす時に危険のないよう、玩具を芝生から除いて場を広くしておく。 ○思いきり走る気持ちよさや楽しさを感じるよう、教師が率先して飛行機やちようちよ、車になって芝生を走り回ったり、走る気持ちよさや楽しさを言葉にしたりする。 ○友達や先生と一緒に走る楽しさを感じられる

<p>止まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合図に合わせて走り出す ・前を見たり友達をよけたりしながら走ったり動いたりする ・応援してもらったり応援したりする 	<p>○いろいろな友達や他のクラスの先生と一緒に走る楽しさを感じたり親しみを感じたりする④</p> <p>○方向転換をしたり急に止まったりして体を動かしたり、その楽しさを感じたりする⑦</p> <p>○合図を知り、合図に合わせて体を動かそうとする⑦</p> <p>○みんなで体を動かしたり走ったりする時に、手を繋いだり寝転んでいたり周りを見ていなかつたりすると危ないことを感じたり、危なくない方法を教えてもらったりしてようとすると 周りを見て避けながら走るとぶつからざに危なくないと感じたり周りを見ながら動いたり走ったりしようとする ⑥</p> <p>○速く走りたい、先生を捕まえたいなどと思って走ったり何度もやりたいと思つたりする①</p> <p>○友達の走る姿を見て応援したり応援してもらって喜んだりする④</p> <p>○速く走れた、逃げ切った、こんなことを考えて逃げたなど、自分の頑張りを感じる②</p> <p>○思いきり動いた満足感を味わう②</p>	<p>ように、教師が追いかけたり追いかけられる側になって逃げたり、一緒に走って楽しかった気持ちを言葉にしたり話したりする。</p> <p>◎学年の友達や他のクラスの先生の存在を知つたり意識したりするよう、積極的に一人一人の子どもの名前を呼んで話しかけたり追いかけたり教師の学年一緒に遊ぶ嬉しさを言葉にしたりする。</p> <p>◎方向転換をしたり急に止まったり、その楽しさを感じたりするよう、教師が逃げている時に様々な方向に逃げたり急に止まったり走り出したり追いかけている時には回り込んで捕まえようしたりする。</p> <p>◎合図が分かって走り出せるように、分かりやすい合図を出したり、大きな声で知らせたり、一緒に走ったり、子どもが合図を出す姿を認め、教師も一緒に楽しんだりする。</p> <p>◎痛い思いをしたり驚いたりした時にどうして危なくなったのか感じたり、危なくないようになしようと思えるように、周りを見て走ったり止まったり動き出したりしようとするよう、驚いたり痛がったりする気持ちを受け止めながら、どんな状況だったのか尋ねたり、教師が危険に思ったポイントを伝えたり、どうすれば安全に遊べそうか尋ねたり、安全に遊ために気を付ける提案したりする。教師が危なくないように考えていることを呟いて聞かせたり、子どもが気をつけて周りを見ている姿を認めたり、危ない状況になった時に、その状況を伝えてどうしたら安全に遊べそうか理由や気を付けられそうなことを一緒に考えたりする。</p> <p>◎速く走りたい、捕まえたいなどと思って走つたり、何度もやりたいと思つたりするよう、教師が率先して楽しむ姿や悔しがる姿を見せたり、友達が楽しむ姿を見せたり、振り返りに話題をあげたりする。</p> <p>◎友達に見てもらったり応援してもらったりする嬉しさを感じたり応援したいと思つたりするよう、人数を分けて走る機会をつくつたり、教師が名前を出して応援したり応援してくれている姿を見せて喜んだりする。</p> <p>◎自分の頑張りに気付けるように、頑張ってしていることを褒めたり、走ってどうだったか尋ねたり前との違いを言葉にして知らせたりする。</p>
---	--	---

	<p>○速く走れた、逃げ切ったなど、したいことができたことに喜ぶ②</p>	<p>◎思いきり動いた満足感を感じられるように、楽しかった気持ちや心地よい疲れを言葉にして一緒に休息する。</p> <p>◎したかったことができたことを喜べるよう、一人一人の頑張ったことや挑戦したことを具体的に言葉にして一緒に喜んだり驚いたりする。</p>
--	---------------------------------------	--

B 【遊具を使って体をいろいろに動かす】

予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊具に挑戦しようとする いろいろな動きを試す (高い所から跳び下りる、上に向かってジャンプする、片足や両足でバランスをとって渡る、トンネルをくぐって進む、ボールを狙いの的に向かって投げる) 動きの感覚をつかんだり、 	<p>○他のクラスの先生や友達と一緒に遊んだり、おやつレストランでおやつを食べたりして親しみをもつ④</p> <p>○置いている遊具や初めての遊具、少し難しいことをしている先生や友達の姿を見て自分もしたい、挑戦したいと思ってしまうとする①</p> <p>○高い所から跳び下りたり、バランスをとっていろいろな渡り方で渡ったり、高いところをタッチしたり、狭い場所をくぐったりするなど、いろいろな体の動かし方を試したり、いろいろに動かす楽しさや心地よさを味わう⑦</p>	<p>◎他のクラスの先生や友達を身近に感じられるように、学年一緒に活動したりおやつを食べたりする機会を増やす。</p> <p>◎したいことややってみたいことを見付けて挑戦しようと思えるように、一学期に子ども達が少し難しさを感じながらも夢中になっていた遊具を用意したり、やったことのある遊具の近くに初めて遊ぶ遊具を置いておいたり教師が積極的にしている姿を見せたりする。</p> <p>* *跳ぶ、渡る、バランスをとるなどのいろいろな動きができるように、ゲームボックスや平均台、バランスストーン、ボール入れ、トンネル、吊り下げボールなどの遊具を、長さや距離、高さ、種類をいろいろに変えたり多様に用意したりする。</p> <p>◎いろいろに体を動かす楽しさや心地よさを感じられるように、高い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高いところをタッチしたり、などの動きを教師が率先してしたり、子どもがしている動きを言葉にして知らせたり、一緒にしながら楽しさを言葉にしたり笑ったりする。</p>

コツを感じたりする
・友達や先生がしていることや頑張っている姿を見る
・安全に遊んだり運んだりするためにはどうすればよいか教えてもらったり考えたりしてしようと/or
・少し難しいこともやってみようとする
・何度もしようとする
・自分の頑張りに気付く

○遠くまで飛び下りたい、高くジャンプしたいという気持ちになってしようとする①

○バランスストーンや平均台から落ちずにいろいろな渡り方を試してみたいという気持ちになってしようとする①

○ボールをたくさん投げ入れたいという気持ちになってしようとする①

○それぞれの遊具の体の動かし方やコツを感じる⑦

○自分が楽しんでいること、自分の得意なことやできるようになったことを感じたり、褒めてもらって自分の頑張りなどに気付いたりする③

○遠くまで飛び下りることができた、落ちずに渡れたなど、したいことができたり、少し難しいと思っていたことができるようになったりした嬉しさを感じたり頑張っている自分に自信をもつたりする②

○友達や先生がしていることを見たり、聞いたり、一緒に遊んだりし

*あそこまで飛び下りたい、ジャンプしたいと思えるように、ゲームボックスの近くには色の違うフープを下りる場所の目印として並べて置いておいたり、ジャンプして手を伸ばすと届くところにボールなどの目標物を吊るしておいたりする。

○遠くまで飛び下りたいと思えるように、教師が遠くまで飛び下りて喜ぶ姿を見せたり、どこまで飛び下りることができるか期待する姿を見せたり、遠くまで飛び下りられたことを一緒に喜んだりする。

○バランスストーンや平均台を色々な渡り方をしながら落ちずに渡りたいと思えるように、教師が落ちそうになりながらも渡れて喜ぶ姿を見せたり、落ちずに渡る友達の存在を知らせたり、簡単すぎず難しすぎない距離にバランスストーンを配置したり、平均台に障害物を置いたりしてコースに変化をつけたり、教師がやって見せたりする。

○ボールをたくさん投げ入れようと思えるように、カゴに鈴をつけておいたり、教師が投げ入れようと挑戦する姿を見せたり、もう少しで入りそだと励ましたり、狙って入れることを伝えたりする。

○それぞれの遊具で遊んでいる時の体の動かし方や感覚に意識を向けられるように、どんな風に体を動かしているのか尋ねて見せてもらったり、教師が動かし方に困っていることや上手くいかないところを尋ねたり教師が子どもの姿から見とったポイントとなる動きを言葉にしたりする。

○自分が楽しんでいること、得意なことやできるようになったこと、頑張りなどに気付けるように、どんなことを頑張っているか、どんなことが楽しいか尋ねたり、教師が見て頑張っていた姿を具体的に褒めたりする。

○したいことや難しいことができた嬉しさを感じられるように、できるようになりたいと思っていることをそばで応援し続けたり体の動かし方のコツをつかめるように支えたり、やりたかったことができたことを一緒に喜んだり、笑顔で見守ったりする。

○頑張っている自分に自信をもてるように、頑張ってきた姿を誇らしく思っていることを伝えたり、友達が見てすごいと思ってくれていることを感じられるように話題にあげたりする。

○友達や先生がしていること、楽しんでいること、頑張っていることを感じたり知ったりするように、友達がしている姿を見せたり、い

<p>て、友達や先生の楽しんでいることや頑張っているところを感じたり知ったりする⑤</p> <p>○高い場所にいたり高い場所から飛び下りる遊びをたりするときに気を付けた方がいいことを一緒にに気付いたり考えたり教えてもらつてしようしたりする⑥</p> <p>○遊具を置いたり運んだりするぶときに危ない運び方をようには考えたり運ぼうと置こうとしたりしようとする⑥</p>	<p>つも挑戦していることを言葉にしたり、それそれが夢中になっていることを紹介し合う時間を持ったりする。</p> <p>○危ないことを感じたり、気をつけた方がいいことを先生と一緒に考えたり教えてもらつたりしてしようとするように、危なくないようにしようと思えるように危ないと子どもが感じているタイミングでその気持ちに共感してどうすればよいか一緒に考えたり、高い場所であることや危なくなっている状況を見せたり、飛び下りる先に誰もいないか見て跳んだり間隔を空けて順番を待ってから跳んだりする友達の姿を言葉にしたり、難しい時には、具体的に方法を教えたりする。</p> <p>○先生や友達と危なくない置き方や遊具の運び方を考えたり運んだりたりしようとしたりするように、教師が遊んだり運んだりしていで怖いと感じたことを伝えたり、危なくなつた時にどうすればよいか安全に運べるか一緒に考えたり、具体的に安全に運ぶ方法を知らせて一緒にやってみたりする。実際に子ども達と動かしたりやってみて感じたことや考えた案を聞いたりする。</p>
---	--

C 【なって遊ぶ】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ②教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生と生き物になつて動く ・友達と一緒に動いたりくつついたりする ・動きやすいような場や状況を教えてもらつたり感じたりする ・なつている生き物の実物を見たり触つたりする 	<p>○なりたいものになつて、ごっこ遊びを楽しむ⑩</p> <p>○友達と身を寄せたり、同じ生き物になつて動いたり、一緒に同じ動きをしたりして一緒に遊ぶことに楽しさを感じたりする④</p>	<p>*いろいろな生き物の動きを思う存分できるよう、広い芝生や遊戯室で行う。</p> <p>○なりたいものになつてごっこ遊びをすることを楽しめるように、教師が楽しそうにやって見せたり、子どもが言つてることやしていることに驚いたり受け止めたりしながら一緒にしたり、その生き物の特徴を感じて、なつている子どもの動きを具体的に褒めたり、みんなに見せたりする。</p> <p>○友達と一緒に遊んだり同じことをする楽しさを感じられるように、同じ生き物になつて動いたり同じ動きをしたりする機会を作つたり、一緒にしている楽しさを言葉にしたりする。</p>

- ・なっている生き物の図鑑や科学絵本、物語絵本を見る
- ・生き物になつて先生や友達とお話を考えたり展開に合わせて体を動かしたりする
- ・気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現する
- ・先生や友達と一緒に遊具を置く場所を考えたり選んだり整えたりする

○なりたいものになって動くときに、危ない動き方を感じたり、周りを見たり、間隔を開けたりして危なくないようにしようとする⑥

○みんなでなっている生き物を触ったり見たりして親しみを感じたり、動きや姿に面白さを感じたりする⑧

○話の展開を **思いのまま**
していく面白さを感じる⑪

○生き物になつている時の友達や先生の動きや表情の表現を感じる。⑩

○登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しむ⑩

○先生や友達と一緒に **お**
話の展開や設定を感じ
ながらを考えながら遊
ぶ楽しさを感じたりする⑪

◎**危ない動き方を感じたり、**周りを見たり、間隔を開けたりすると危なくないことを **教えて**
もらって感じてしようと思えるよう、られる
よう、危なくなっていた時の状況を知らせたり、周りを見ることや、広い場所を見付けたりするとぶつからないことを遊びながら伝える。

*登場する生き物に親しみを感じられるように、科学絵本や写真、図鑑を見やすい場所や手に取りやすい場所に用意しておく。

◎動きや習性、姿の面白さを感じられるように、虫を探すこと誘ったり、一緒に探したり、教師も一緒に見て驚いたり、子どもの気付きに共感したり、動きを言葉にしたり、習性がわかるような掲示物を保育室に貼っておいたりする。

◎みんなでなつている生き物に親しみを感じられるように、その生き物が登場している、絵や言葉で感情が分かりやすい絵本を読んだり、ペーパーサポートに主人公の名前をつけて登場させたりする。

◎**話の展開を **思いのまま** 感じ **られたり展開していく面白さを感じたりする**ように、**絵本やペーパーサポートの中で展開のある物語を選んで読んだり、変化が分かりやすいメリハリのある声で読んだり、**変化のある話の流れをナレーションで伝えたり、**声色を変えたり、なつて遊ぶ時には危険や怖い場面など大きな出来事を含ませたりその展開を教師が楽しむ姿を見せたりする。

◎友達や先生の動きや表情に意識を向けられるように、子どもが考えて表現している姿を見付けておき、皆の前で見せ合う機会を作ったり、子どもの表現から思い浮かんだ心情を尋ねたりよく伝わったことを言葉にしたり、教師も動きや表情、声色の表現を大きく分かりやすく見せたりする。

◎登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しめるように、状況を分かりやすく伝えたり、状況に合わせて明るい音や暗い音をピアノで弾いたり、気持ちをナレーションで伝えたり、登場人物の気持ちを感じて、表現している子どもを具体的に褒めたりする。

◎先生や友達と一緒に **お**
話の展開や設定を感じ
ながらを考えながら遊ぶ楽しさを感じたりするように、いろいろな展開の中で教師が率先してなつて遊ぶことを楽しんだり、教師が考えたおおまかな流れを提案しながら子ど

		<p>もが思い描いている状況を聞き出したり、決 どうしたいか尋ねたり子どもが考えたことや していることの面白さを言葉にしたりしてみ んなでやってみたりする。話を繋いだりして 変えていく。</p> <p>◎やりやすく、したいことができる遊びの場を先生や友達と考えたり整えたりしようと思えるように、お話を思い浮かべながらどんな遊具を置きたいか尋ねたり、動きにくさを言葉にしてやりやすい場に遊具と一緒に動かしたり、置き方を変えたりする。</p> <p>◎自分が考えたことや考えて表現したこと、頑張っていることなどに自信をもてるように、それぞれの子どもの考えたこと、頑張っていることを具体的に褒める。</p> <p>◎友達や先生の楽しんでいることや考えていることを感じたり知ったりするように、何度も繰り返ししている友達の姿を見せたりみんなが楽しんでいたことを振り返りの時間に聞いたり話題にしたり子どもが考えたことを取り上げてみんなでやったりする。</p>
	<p>○したいことができるような遊びの場を先生や友達と考えたり整えたりしようとする⑨</p> <p>○自分が考えたことや頑張っていることに自信をもつ②</p> <p>○友達や先生がしていることを見たり、聞いたり、一緒に遊んだりして、友達や先生の楽しんでいることや考えていることを感じたり知ったりする⑤</p>	

D 【先生や年中・年長、お家の人に見てもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・見てもらうことを楽しみにしたり、褒めてもらって喜んだりする	<p>○お家の人に見てもうることを楽しみにする④</p> <p>○楽しんでいることや頑張ってきたことを、お家の人に見てもらえてよかったですと思う④</p> <p>○褒めてもらって、自分の得意なことや頑張ってきたことに自信をもつ②</p>	<p>◎見てもうことを楽しみにできるように、運動会の日は、お家の人が見に来てくれるなどを知らせ、どこを見てほしいか尋ねる。</p> <p>◎見てもらえてよかったですと思えるように、見てもらってどんな気持ちかを言い合ったり、「よかったです」と話したりする。</p> <p>◎自分の得意なことや頑張ってきたことに自信をもてるように、保護者に子どもが頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。</p>